

2型糖尿病 (type 2 diabetes mellitus)

- 2型糖尿病は、糖尿病のうち主にインスリン分泌低下やインスリン抵抗性を主因とする疾患であり、インスリン非依存性の糖尿病と分類される。
- 「糖尿病治療ガイド2022-2023」(日本糖尿病学会)によると、初診時にHbA1c 9.0%未満のときは適切な食事療法、運動療法を指示し、これらを続けても目標の血糖コントロールを達成できない場合には薬物療法を行い、初診時にHbA1c 9.0%以上のときは、患者背景を考慮して、食事療法、運動療法に加えて薬物療法の開始を考慮するとされている(図1)。
- 薬物療法は代謝機能の程度のみならず、年齢や肥満の程度、合併症、肝・腎機能等を評価し、その病態を考慮した選択が推奨されている。
- チルゼパチド(マンジャロ皮下注)は持続性GIP/GLP-1受容体作動薬であり食事療法、運動療法を十分に行った上で効果が不十分な場合に限り使用される。

図1: インスリン非依存状態の治療
(「糖尿病治療ガイド2022-2023」より作成)

